

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立保々中学校

校長 岩田 久二雄

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- （1）開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
- （2）教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いを反映した学校づくりを推進します。
- （3）学習支援・学校環境整備等、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域の方に学ぶ・人がつながる学校づくり」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

（1）教育活動の実践事例

○地域の教育力を生かした活動事例

ア．学習を支援する活動事例

特別支援学級の学校菜園活動（名称：Dファーム）に係る取組を今年度も継続・発展させました。

学校運営協議会委員の方だけではなく、地域の農業従事者等の指導・支援を受け、玉ねぎ、ジャガイモ、キュウリ、トマト、ピーマン、サツマイモ、ナス、スイカなど昨年の教訓をもとに、数多くの野菜づくりにチャレンジし、収穫・調理を経て、おいしくいただくことができました。これらの取組を通して、食育だけでなく、自然に関する多くのことを学ぶことができました。



イ. 読書活動推進に係る取組

図書ボランティア部会では、図書ボランティアのすすめ本や読み聞かせで使
用した本の紹介などの掲示物の作成、掲示等を行っていただきました。

今年度は昼休みの「読み聞かせ」は約1か月に1回のペースで行っていただき
ました。生徒が本に親しみ、たくさんの本を読むことで読解力向上を図ってい
きたいと考えています。



ウ. 学習環境を整備し、教育活動を支える取組

運営協議会の環境部会では、P T Aや地域団体と連携して、環境整備作業を行
いました。年間2回のボランティア除草作業、P T A主催の除草作業の支援、ま
た、運営協議会委員による自主的な除草作業等、良好な教育環境維持の為、環境
整備に努めていただきました。

本校は校地が広く、雑草・雑木が生えやすい
環境にあるため、環境部会が主体となった
整備活動は大変効果がありました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

学校評価生徒アンケートの「学校の授業はわかりやすいですか」の問いには、肯定的な回答率は94.1%で、昨年度の93.8%から微増となり、高い評価となっています。また、学校づくりビジョンの3つの柱にしている、「あいさつができる」・「掃除や整理整頓ができる」・「時間を守る」に関する問いでも、それぞれ、85.3%、86.0%、90.4%の生徒が肯定的な回答をしており、近年は高い評価となっています。全体的にみると、15のアンケート項目のうち13項目が、85%以上の肯定的回答率となっています。「保々地区への愛着」を問う問いに対しては、91.9%の生徒が肯定的な回答をしており、昨年度の88.4%から増加しており9割を超えています。

また、学校評価保護者アンケート「通信・たより・ホームページ、電話連絡（通信アプリ Home&School）・家庭訪問、オープンデー、保護者懇談会などによって学校やお子さんの様子がわかりやすい」の問いでは、肯定的な回答率は94.2%と高い結果となりました。

今後も保護者の方・地域の方と連携し、仲間とともに「豊かな感性」「やりきる態度」「生き抜く基礎」を育む学校づくりを目指していきます。



3 今後に向けて

学校運営協議会では、学校教育ビジョンに関連して、『社会に出たとき、生きて働く力の育成』は予測困難な社会を、自ら切り拓いていくために、さらに必要性が高まっています。中学2年生の職場体験は、職業について体験するだけでなく、全体的なビジョンを見通す中で、その必要性について理解を深め、広義での『キャリア教育』推進に取り組んでいただきたい」といった旨の意見をいただきました。そして、そのために運営協議会ははじめ地域は協力していくと言っていたいただきました。また、地域の中でもあいさつがよくできる生徒が多いと言っていたいただき地域全体で子どもたちの成長を見守っていくことが重要であるとの意見をいただきました。さらに、学校内の除草作業などの環境整備に留まらず、通学路の整備や挨拶運動の協力など、学校教育ビジョンに掲げる目指す子ども像の実現に向けて大変心強い協力の約束をしていただきました。

教育を取り巻く課題がより一層複雑化、多様化する社会において、「今の学びを、将来につなげられる子どもの育成」のためには、学校教育だけでは困難であるため、運営協議会をはじめ地域の方々とともに学校運営を充実させていくことが必要不可欠となっています。今後も、地域との連携を進め、保々地区の方々といっしょに教育内容の創造や教育環境条件の整備等を推進していきたいと思います。

令和7年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立保々中学校

委員長 出口 文彦

校 長 岩田 久二雄

月	協議会の開催	活 動 内 容
4	第1回学校運営協議会（保々中） 16	学校づくりビジョン、活動方針・内容について
5	ゲストティーチャーによる活動（2年プレ社会人セミナー講演） 23 図書ボランティア 30	キャリア教育の視点から労働の意義を知る 本の読み聞かせ、掲示物作成
6	第2回学校運営協議会（保々小） 4 図書ボランティア 13 環境整備（除草作業）	授業参観、子どもの様子、各部会の報告、情報交換等 本の読み聞かせ、掲示物作成 校舎周辺等除草作業
7	図書ボランティア 4 ボランティア除草作業 20 環境整備（除草作業）	本の読み聞かせ、掲示物作成 中庭等除草作業 校舎周辺等除草作業
8	環境整備（除草作業）	校舎周辺等除草作業
9	除草作業 7 ボランティア除草作業 14 図書ボランティア 19	学校内除草作業 本の読み聞かせ、掲示物作成
10	第3回学校運営協議会 11 図書ボランティア 10	授業参観、子どもの様子、各部会の報告、情報交換等 本の読み聞かせ、掲示物作成
11	図書ボランティア 7	本の読み聞かせ、掲示物作成
12	図書ボランティア 5 ゲストティーチャーによる活動 18 （マナー講座）	本の読み聞かせ、掲示物作成 キャリア教育の視点で円滑なコミュニケーションのためのマナーを知る
1	図書ボランティア 17	本の読み聞かせ、掲示物作成
2	第4回学校運営協議会（保々小） 6 図書ボランティア 28	保々のつどい参観、1年間の総括 本の読み聞かせ、掲示物作成
3	図書ボランティア	実施予定